

【評価実施概要】

事業所番号	170504153		
法人名	有限会社ライフアート		
事業所名	グループホーム福寿荘		
所在地	〒003 - 0835札幌市白石区北郷5条9丁目8 - 33 (電話) 011 - 879 - 5611		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061 札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B (電話) 011 - 281 - 5871		
訪問調査日	平成22年3月18日	評価確定日	平成22年3月30日

【情報提供票より】(平成22年3月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 30日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	19 人	常勤 11人, 非常勤 8人, 常勤換算12.35	

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有(195,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400 円			

(4) 利用者の概要(3月5日現在)

利用者人数	15 名	男性	2 名	女性	13 名
要介護1	2名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	5名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢	平均 74.7 歳	最低	60 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みどり内科クリニック、とくしま歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅街にあって、その園庭(芝・花壇・菜園)の緑を囲み囲むように、どの部屋からも眺められるよう創られ、ゆるやかな生活のたたまいが感じられる。職員は静かな動きのうちに、やさしい声かけやきめ細かな見守り姿勢で介護支援に当たり家族の信頼を得ている。運営推進会議は毎月定例(隔月の決まった曜日)で開催している。家族へ参加を呼びかけ、地域関係者や包括支援センター職員等の参加の下に活発な意見交換を行って運営に活かしている。職員研修にあっては若年性認知症対応を特化するなど積極的な役割を担っており、従事する職員の専門性・資格も高く、さらなる職場内外の高度の研修・研鑽に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題の指摘はない。さらなる高い目標のサービス向上に努めている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全員が自己評価に参画し、常に新たな改善課題に向けた協議検討を重ねている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は利用者の風邪の状況、消防訓練の実施と課題、職員の内部異動と特性などを説明、認知症専門家の来日と研修など多様な話題を提供すると共に、家族・町内会・地域包括支援センターなどから立場に応じた積極的な提言や話題が提供され運営に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 定期的な家族会の開催、運営推進会議参加の呼びかけ、来訪時には積極的な声かけを行って相談しやすい雰囲気作り心がけるなど家族の意向や意見を運営に活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し資源回収・清掃・行事に参加、運営推進会議には地域代表の参加を得て意見を反映するなど、地域の一員として交流している。また、子ども消防団の来訪や近隣のお付き合いを大切にしている。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの尊厳を大切に、住み慣れた地域、社会で安心して暮らせる社会作りを理念に地域に根ざした運営をしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケアの実践に当たって、職員相互がカンファレンス会議などで実際例にふれ、理念を具体的に確かにながら共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会への加入と日常的な近隣の親しいお付き合いなど地域の一員としての活動や運営推進会議委員の参加を求め防災のありようを伺うなど地域との交流の基盤を築きつつある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が自己評価の意義や目的を理解して関わり、高い目標に向けた改善課題を協議して取組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議ではサービスの現状や季節の行事・催事等を説明すると共にテーマを絞り委員の意見・意向を運営に反映している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ホーム運営事項の情報交換、市主催の連絡会への参加、市からの各種研修の受入など市の積極的な対応でサービスの質の向上を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が訪問の際は日常の生活状況や記録、ケアプランを提示して理解を深めると共に、金銭出納関係の定例的報告、家族の意向を家族固有の連絡ノートに記録してもらいケアに活かすなど、さらには必要に応じた電話連絡など緊密な関係をはかっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に家族の参加を呼びかけ、訪問時の気軽な意見・意向を汲み取れる雰囲気作りに努め、定期的な家族会を開いて意向を運営に活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動には事前の話し合いを重ね、その影響の最小化に努めるなど細心の留意を図って対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>人材の育成は重要な職場の課題として受け止め、日常的なケア現場の具体的指導を重視すると共に、年度初めの個別の面談を行い、内外の研修計画に応じた積極的に参加できる条件を整えている。職員の意欲も高くさらなる資質の向上に努めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市・区内の連絡会には積極的に参加する体制にあり、情報交換や交流を図って相互のネットワーキングを図り、サービスの質的向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>申し出に応じ時に家庭訪問やホームの見学、隣接するデイサービス利用後に入所するなど職員やホームの様子・生活を知ってもらい、信頼関係を築き不安をやわらげるようアセスメントに努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>共に支えあうとの理念に徹し、利用者本位の立場に立ちあるがままの姿を共に受け入れて生活できるような関係と雰囲気を作ろう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントや処遇にはセンター方式の情報収集を重ね本人の意向や接して得た対話・表情・行動、さらに家族からの情報を重ねて本人の思いを把握するよう努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ニーズ・思いを日々の生活の活かすためのアセスメントには入所当初から本人・家族や関連する情報収集に努め、職員相互の意見交換を重ねて、なすべき課題を共有してケア計画作成し、家族に説明、利用者主体の計画となるよう努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日常の介護実践の確かめを重ね定期的な見直しに努めると共に利用者の心身の変化や本人・家族等の要望に応じて介護計画の見直しを行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>提携医療機関の定期的往診で外来受診の軽減、入院時の早期退院支援、状態の重度化進行に伴う住み替え、終末期の看取り支援等家族の要望に応じて臨機応変な多様な対応に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>連携医療機関との定期的往診を行っているほか、利用者個々のかかりつけ医の連絡・相談・健康管理を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入所の当初から本人・家族の意向を確認して覚え書を交わしており、心身の変化に応じて家族等の意向を確認し関係医療機関の医師を含む関係者の協議で対応をすすめるよう方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>日常の利用者との対応にあたっては個人の尊厳やありのままの姿を損ねることのないよう理念の基づいて取り組んでいる。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの生活のリズムやペースを大切にして楽しく過ごせるよう支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べることの楽しみ・喜びを共にするようメニューや季節食材の話題を提供し嗜好を考慮するなど工夫して調理している。また個々の能力に応じた参加と協力を得ている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人心身の状態や状況・意向に合わせて個々別の支援に心がけ、出来るだけ本人に合った入浴が出来るよう本人と職員が話し合うなどの配慮している。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントにはセンター方式を活用して本人の生活歴や家族の協力を得て馴染みのくらしを掘り起し、その人の生活力を活かして役割、楽しみを支援するよう努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ外出の機会をつくるよう声かけや援助をし、前庭の畑や花壇に出て近隣の方との交わりを持つよう配慮している。家族との外出も多い。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけずに利用者の状態把握に努め、見守り・声かけなど自由で安全に生活できるように支援に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>利用者参加の避難訓練は年2回実施して、避難経路の確認、火元となる場所の点検、職員会議では緊急対応措置の周知を図り、運営推進会議では地域に協力関係の促進を協議して対策を講じている。</p>		<p>災害対策にはホームレベルから管内地域の住民組織と関係機関との連携による防災対策を働きかけるよう期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者個々の食事・水分の摂取状況を把握し記録にとどめ応じて即応すると共に、食事嗜好や栄養バランスを調べ適切な対応に努めている</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は常時多くの利用者の快適な場となっている。採光・温・湿度・換気、落ち着いた家具調度品の配置は家庭的な雰囲気をもしている。また食堂・台所・トイレ・浴室等の関連も機能的に配置されて、かつ多目的室も弾力的な機能性を高めている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族や本人の意向が居室の姿を示していて、家族の思いや慣れ親しみの置物などで居心地づくりを工夫している。</p>		

 は、重点項目。